

# **DX・デジタル化に関するアンケート調査結果**

**2026年1月**

**四国経済連合会**

# 調査概要

	前回調査	今回調査
調査対象	四国経済連合会の会員335社・団体	四国経済連合会の会員357社・団体
調査方法	インターネットによるアンケート調査	同左
調査期間	2021年11月16日～30日	2025年12月18日～2026年1月9日
回答数	130社・団体（回答率38.8%）	118社・団体（回答率33.1%）

# 回答企業の属性

本社所在地	社・団体 (%)
四国内	75(64%)
香川県	39(33%)
愛媛県	17(14%)
徳島県	9( 8%)
高知県	10(8%)
四国外	43(36%)
<b>合計</b>	<b>118</b>

業種	社・団体 (%)
製造業	30(25%)
非製造業	88(75%)
<b>合計</b>	<b>118</b>

資本金	社・団体 (%)
10億円以上(大企業)	51(43%)
1億円～10億円(中堅企業)	20(17%)
1億円未満(中小企業)	47(40%)
<b>合計</b>	<b>118</b>

従業員数	社・団体 (%)
1～49人	17(14%)
50人～99人	11( 9%)
100人～299人	23(19%)
300人～999人	21(18%)
1,000人～	46(39%)
<b>合計</b>	<b>118</b>

※小数点以下を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合があります

## 調査項目（概要）

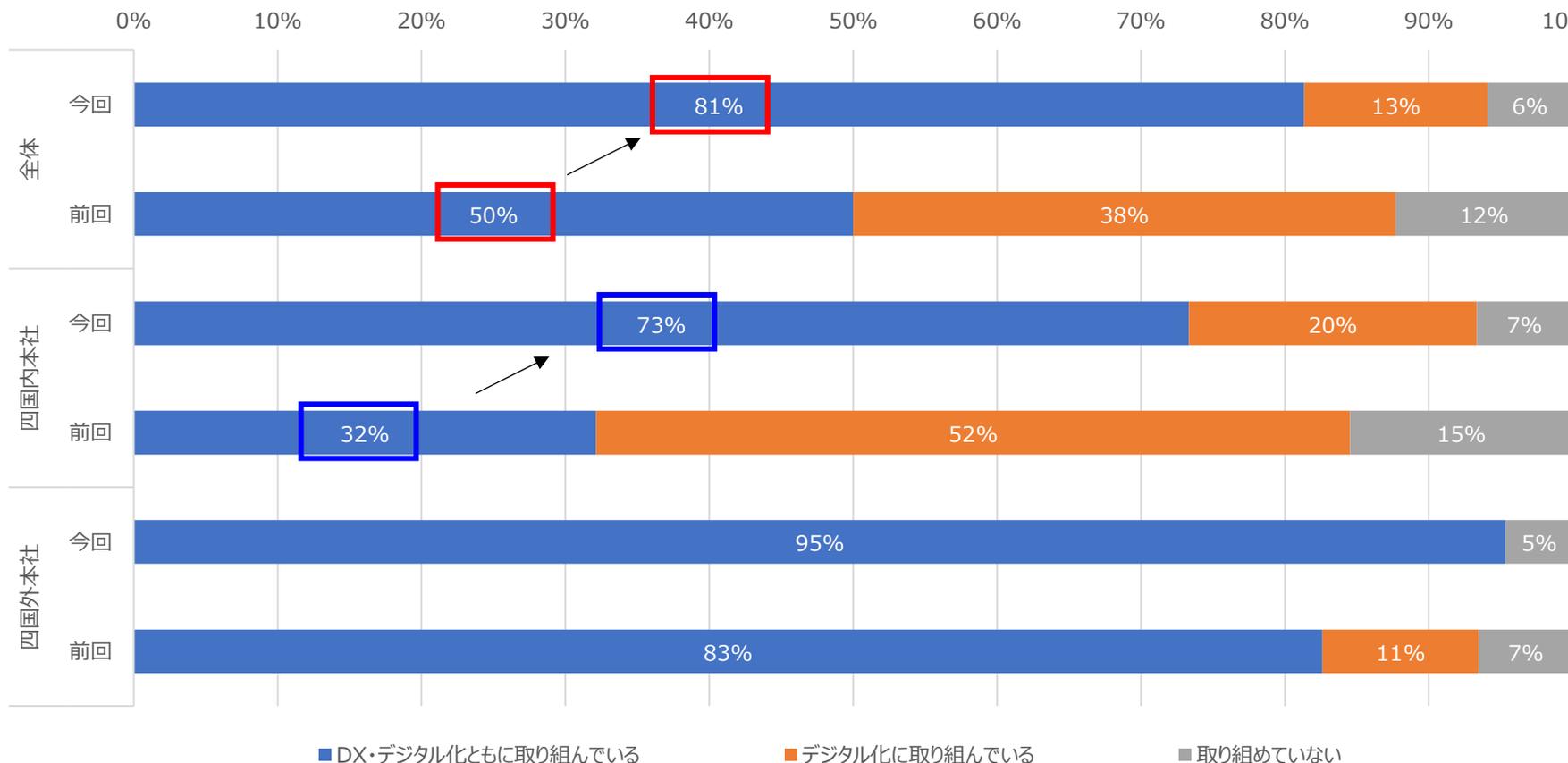
	調査項目	前回 (2021)	今回 (2025)
DX・デジタル化	取組み状況	○	○
	取り組む動機・理由	○	○
	取組み内容	—	○
	展開方法	—	○
	管理方法	—	○
	成果	—	○
	課題	—	○
	今後実施・強化したい施策	○	○
	検討している内容（現在・将来）	—	○
	育成したい人材イメージ	○	○
生成 A I	導入・利用状況	—	○
	課題	—	○
その他	D X・デジタル化の伸展を期待する分野	○	○

# DX・デジタル化への取り組み状況

- 「DX・デジタル化とともに取り組んでいる」と回答した企業の割合が前回調査(2021年11月)の50%から81%に上昇した。
- 所在地別で見ると、四国内に本社を置く企業の割合が前回調査の32%から73%に大きく上昇した。

Q.貴社・貴団体では、自社のDX・デジタル化に取り組んでいますか。

今回：N=118、前回：N=130



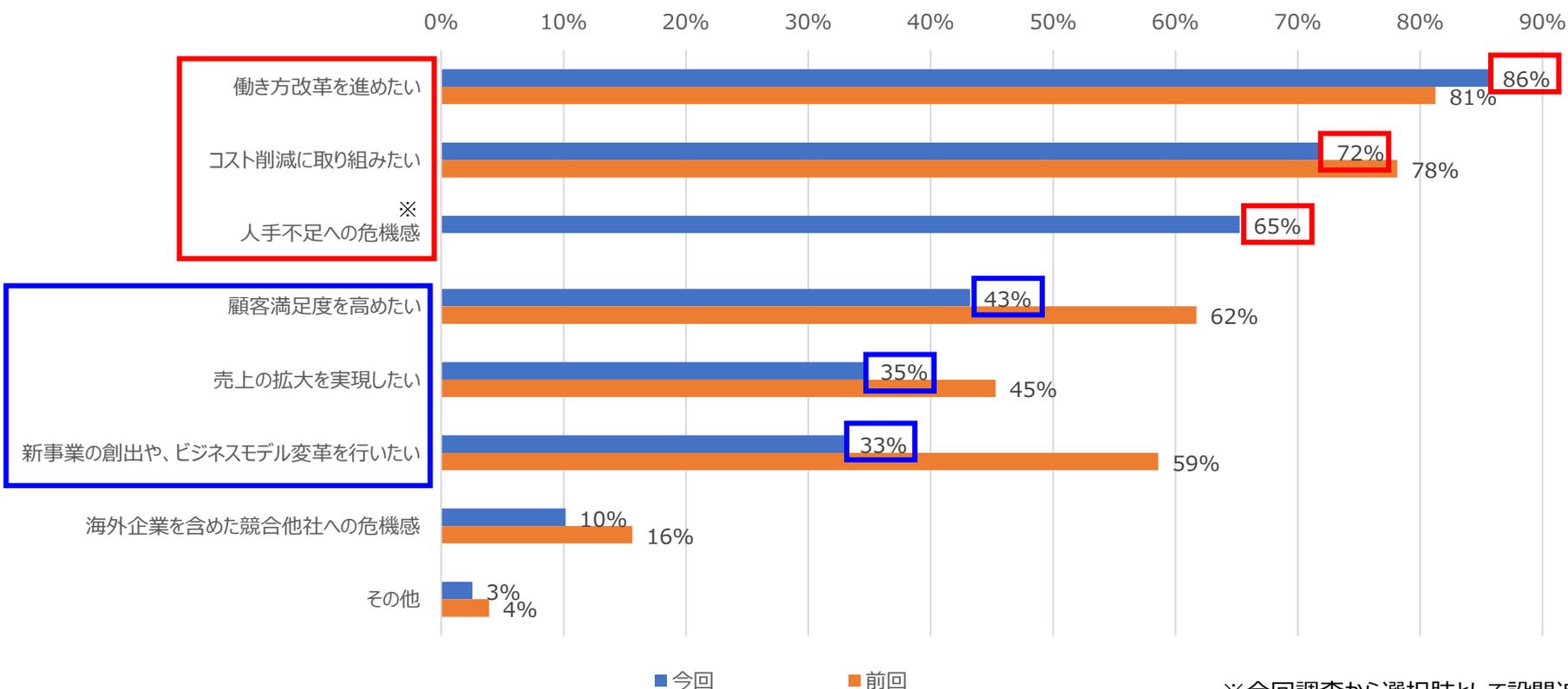
※小数点以下を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合がある

# DX・デジタル化に取り組む動機・理由

- 前回調査同様、「働き方改革を進めたい」の回答割合が86%と最も高く、次いで、「コスト削減に取り組みたい」（72%）、「人手不足への危機感※<sup>1</sup>」（65%）と続いた。
- 一方で、「顧客満足度を高めたい」（43%）、「売上の拡大を実現したい」（35%）、「新事業の創出やビジネスモデル変革を行いたい」（33%）の回答は前回調査から大きく低下した。

Q.DX・デジタル化に取り組んでいるもしくは取り組もうと考えている理由について、以下の選択肢から選んでください。（複数回答可）

今回：N = 118、前回：N = 130



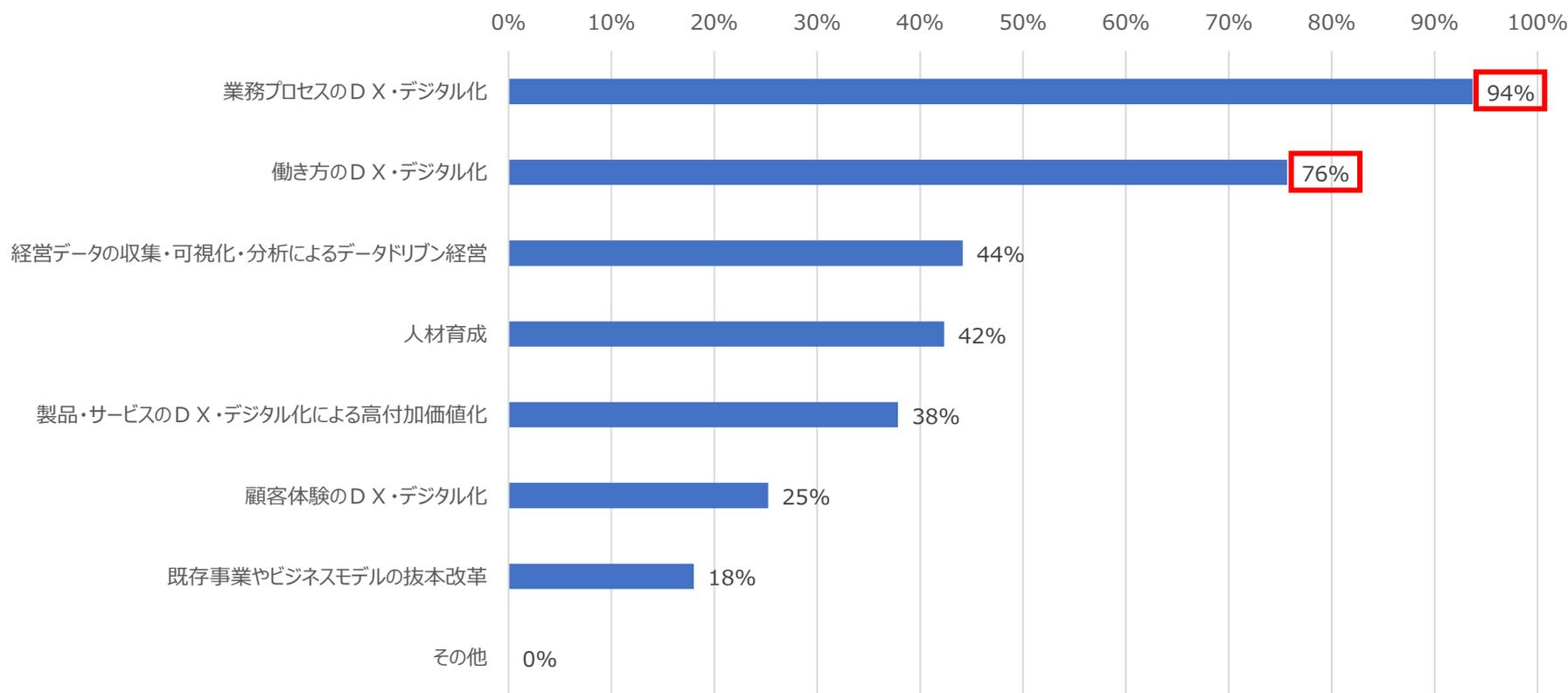
※今回調査から選択肢として設問追加

# DX・デジタル化への取り組み内容

- 現在取り組んでいるDX・デジタル化の内容は、「業務プロセスのDX・デジタル化」の回答割合が94%と最も高く、次いで、「働き方のDX・デジタル化」（76%）となった。

Q.いま取り組まれているDX・デジタル化の内容について、以下の選択肢から選んでください。  
(複数回答可)

N = 111



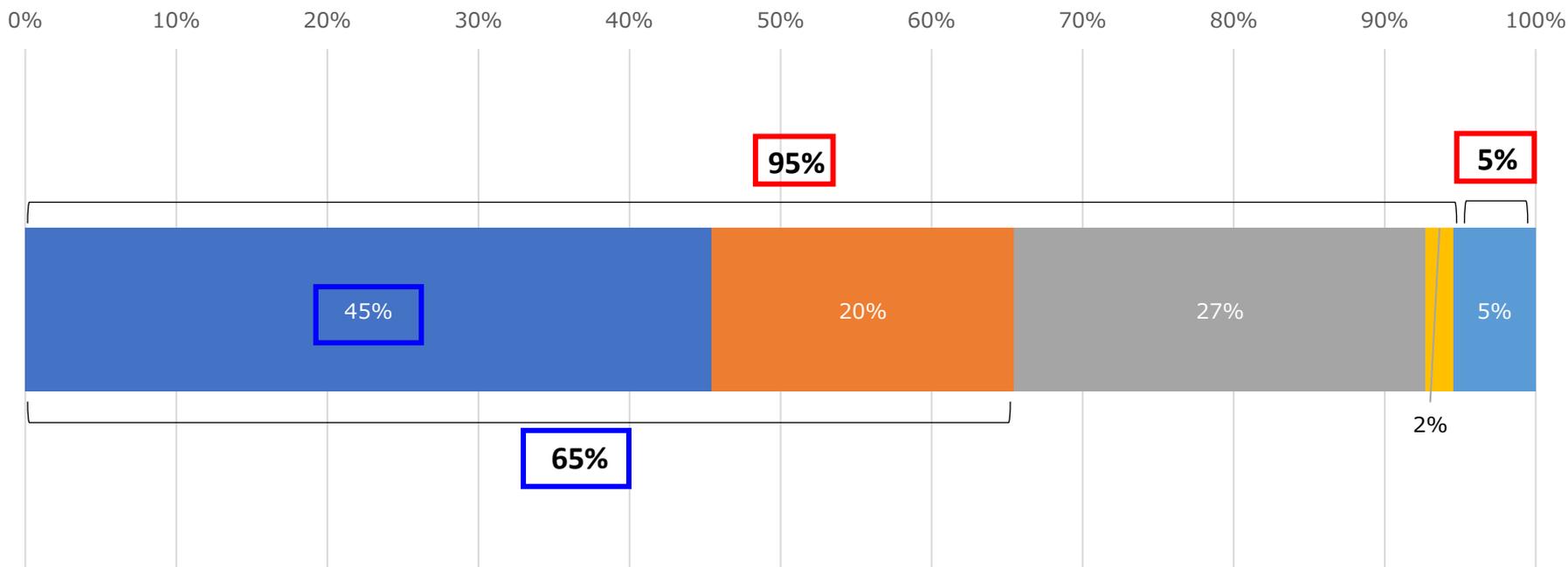
※調査対象：「DX・デジタル化ともに取り組んでいる」、「デジタル化に取り組んでいる」と回答した企業

# DX・デジタル化の展開方法

- 「DX・デジタル化を展開している（①・②・③・④）」と回答した企業の割合が95%となり、「特に展開はしていない」の回答が5%となった
- 「展開にあたり、統括部門を設置している（①・②）」の回答が65%となり、このうち、「全社展開している（①）」の回答が45%となった。

Q.DX・デジタル化の展開方法について、以下の選択肢から選んでください。

N = 110



- ① ■ DX・デジタル化の総括部門を設置し全社的に展開している
- ② ■ DX・デジタル化の統括部門を設置しているが、一部の部門にとどまっている
- ③ ■ DX・デジタル化の統括部門は設置せず、各部署ごとで取り組んでいる
- ④ ■ 外部の専門家にコンサルを依頼している
- ⑤ ■ 特に、展開はしていない

- ② ■ DX・デジタル化の統括部門を設置しているが、一部の部門にとどまっている
- ④ ■ 外部の専門家にコンサルを依頼している

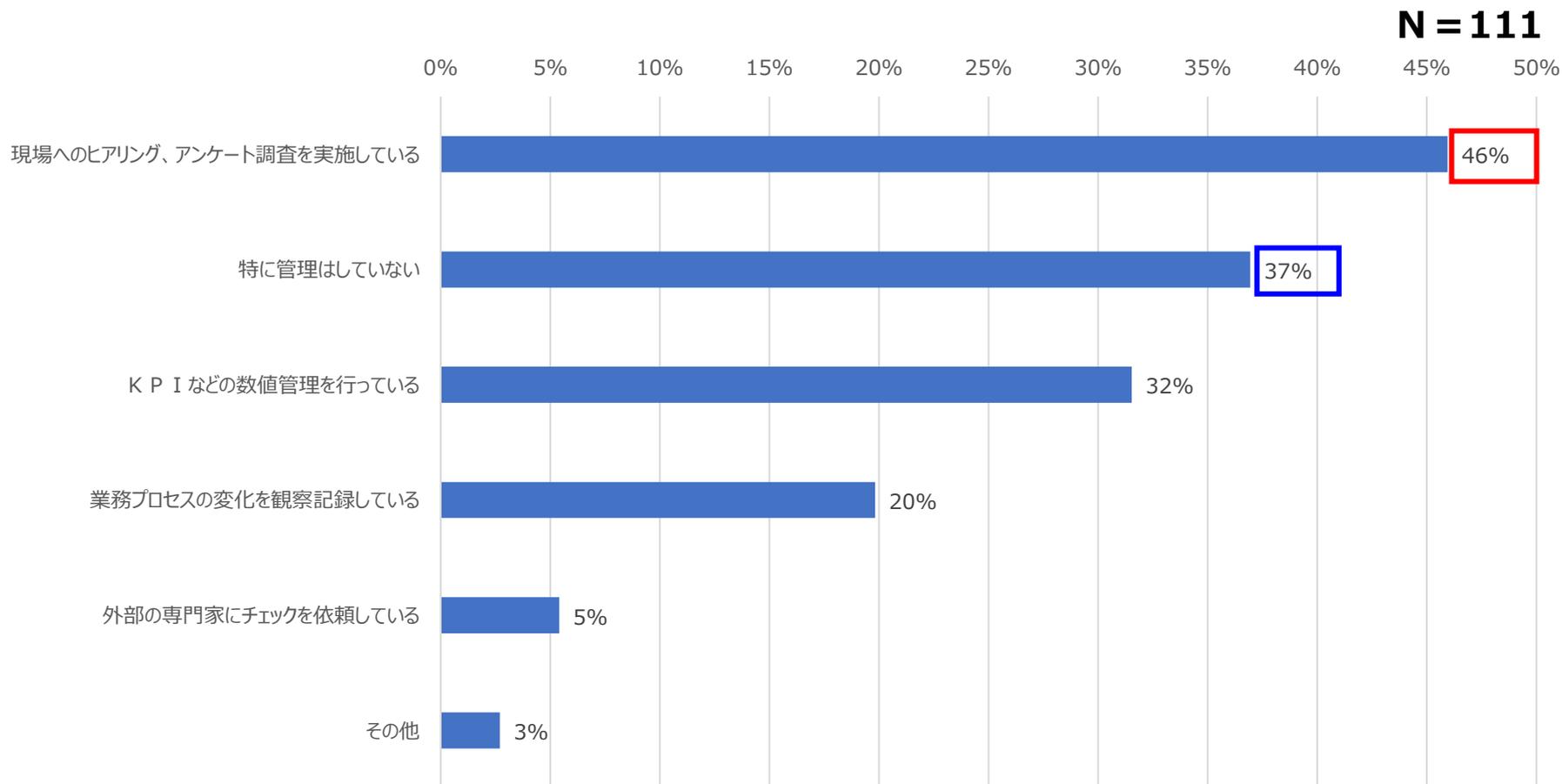
※1. 小数点以下を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合がある

※2. 調査対象：「DX・デジタル化ともに取り組んでいる」、「デジタル化に取り組んでいる」と回答した企業

# DX・デジタル化の管理方法

- 管理の方法は、「現場へのヒアリング、アンケート調査を実施している」の回答割合が46%と最も高かった。一方で、「特に管理はしていない」の回答も37%みられた。

Q.DX・デジタル化の管理方法について、以下の選択肢から選んでください。（複数回答可）



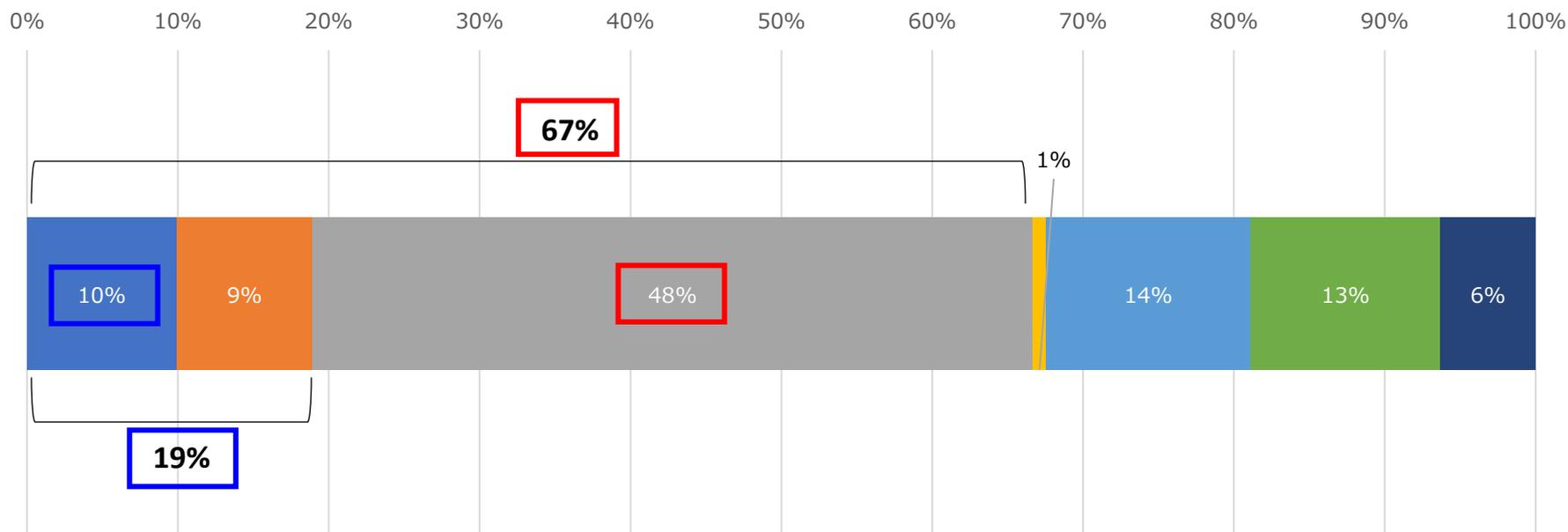
※調査対象：「DX・デジタル化ともに取り組んでいる」、「デジタル化に取り組んでいる」と回答した企業

# DX・デジタル化の成果

- 「DX・デジタル化に関して成果があった（①・②・③）」と回答した企業の割合が67%となり、このうち「成果目標は定めていないが、意識の向上などの定性的な成果があった（③）」の回答が48%となった。
- 「成果目標を定めている（①・②）」の回答は19%で、このうち「成果が目標を上回っている（①）」の回答は10%となった。

Q.DX・デジタル化の成果について、以下の選択肢から選んでください。

N = 111



- ① ■ 成果目標を定め、これを上回っている
- ② ■ 成果目標を定めているが、到達していない
- ③ ■ 成果目標は定めていないが、意識の向上など定性的な成果があった
- ④ ■ 特に成果はない
- ⑤ ■ 今後評価予定
- ⑥ ■ 把握していない
- ⑦ ■ その他

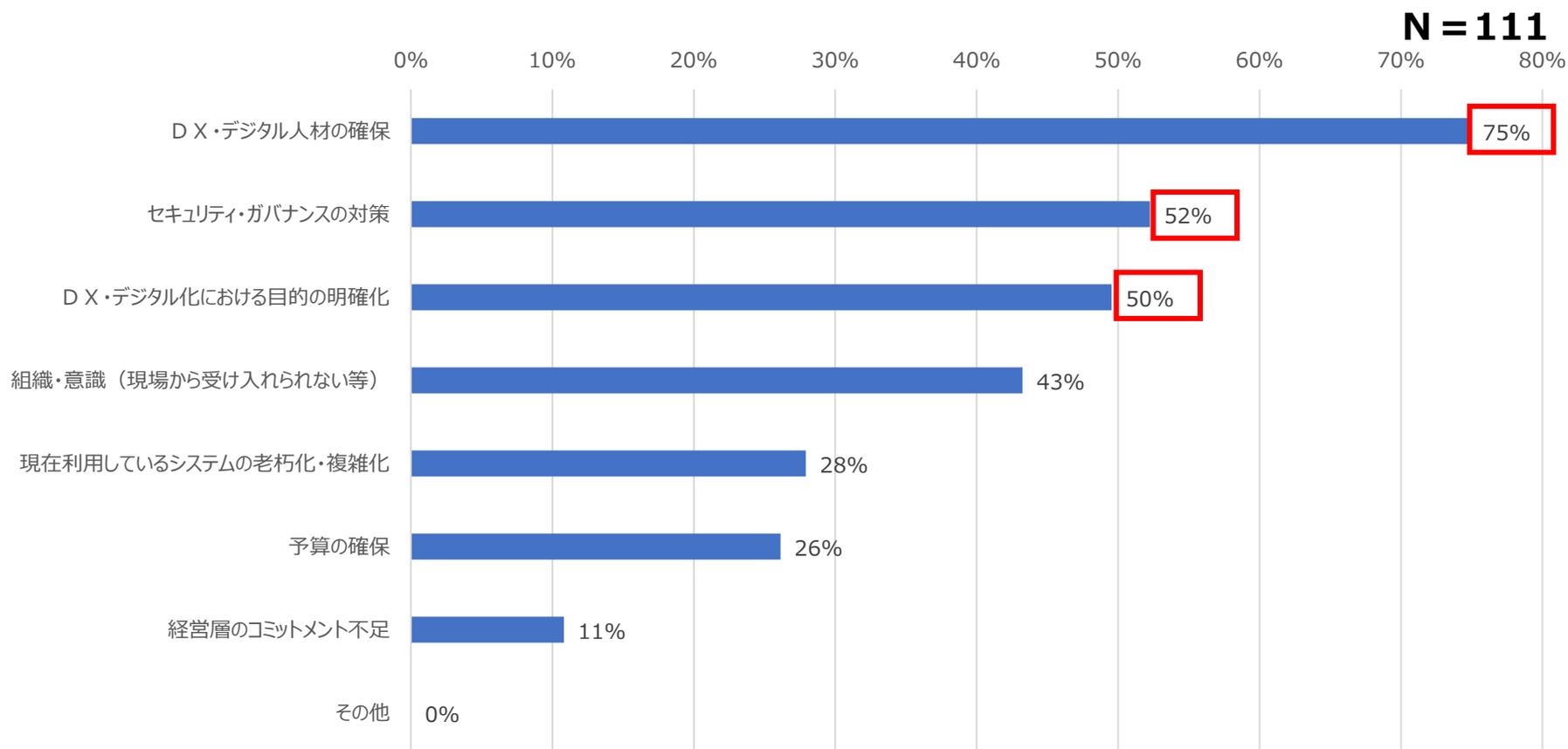
※1. 小数点以下を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合がある

※2. 調査対象：「DX・デジタル化ともに取り組んでいる」、「デジタル化に取り組んでいる」と回答した企業

# DX・デジタル化の課題

- DX・デジタル化を進めるうえでの課題は、「DX・デジタル人材の確保」の回答割合が75%と最も高く、次いで、「セキュリティ・ガバナンスの対策」(52%)、「DX・デジタル化における目的の明確化」(50%)となった。

Q.DX・デジタル化を進める上での課題について、以下の選択肢から選んでください。(複数回答可)

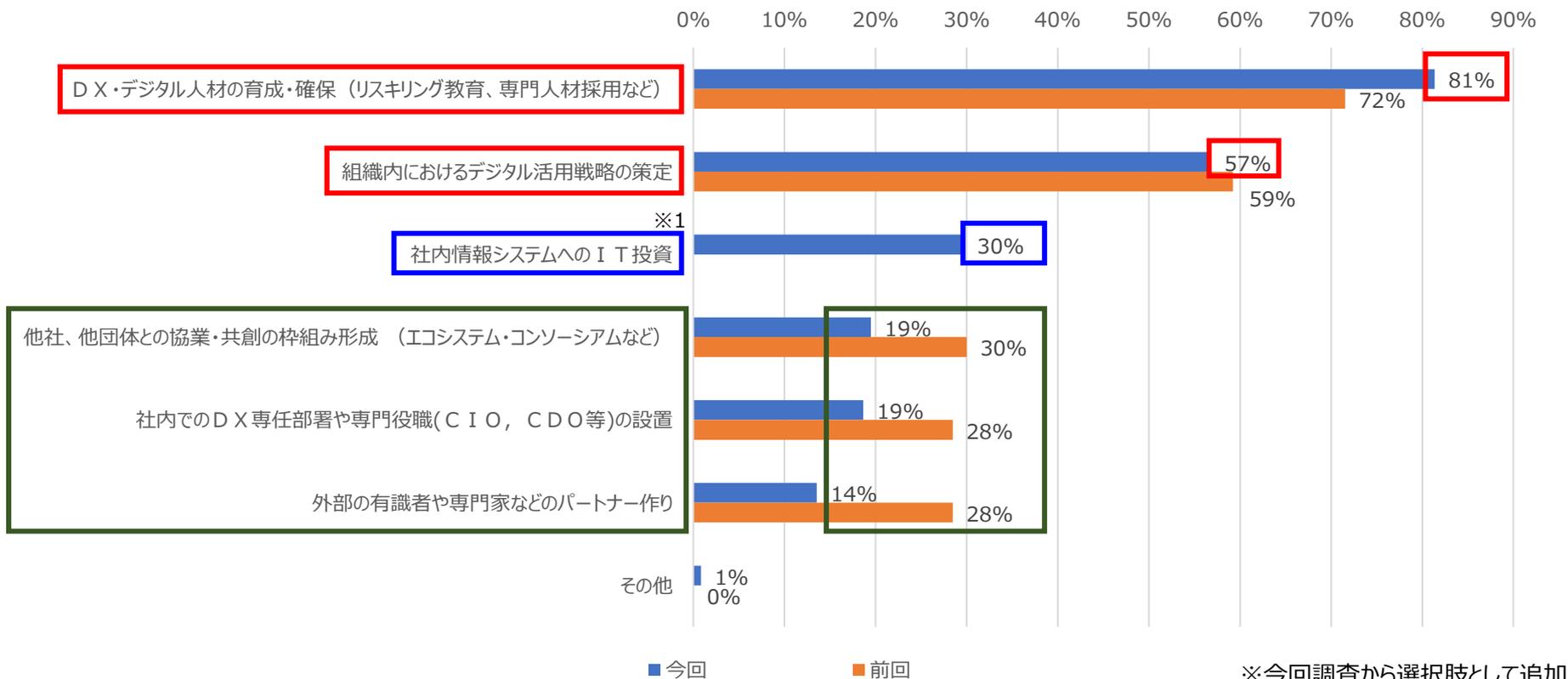


※調査対象：「DX・デジタル化ともに取り組んでいる」、「デジタル化に取り組んでいる」と回答した企業

# DX・デジタル化の推進に向けて今後、実施・強化したい施策

- DX・デジタル化の推進に向けて実施したい施策では、前回調査と同様に「DX・デジタル人材の確保」の回答割合が81%と最も高く、次いで、「組織内におけるデジタル活用戦略の策定」(57%)となった。
- 今回調査で項目を追加した「社会情報システムへのIT投資※1」の回答(30%)も上位2項目に次ぐ上位3番目となった。
- 一方で、「他社・他団体との協業・共創の枠組み形成」、「社内でのDX専任部署や専門役職の設置」、「外部の有識者や専門家などのパートナー作り」の回答は前回調査から大幅に低下した。

Q.DX・デジタル化の推進に向けて、今後実施もしくは強化したい施策について、以下の選択肢から選んでください。(複数回答可) 今回：N=118、前回：N=130

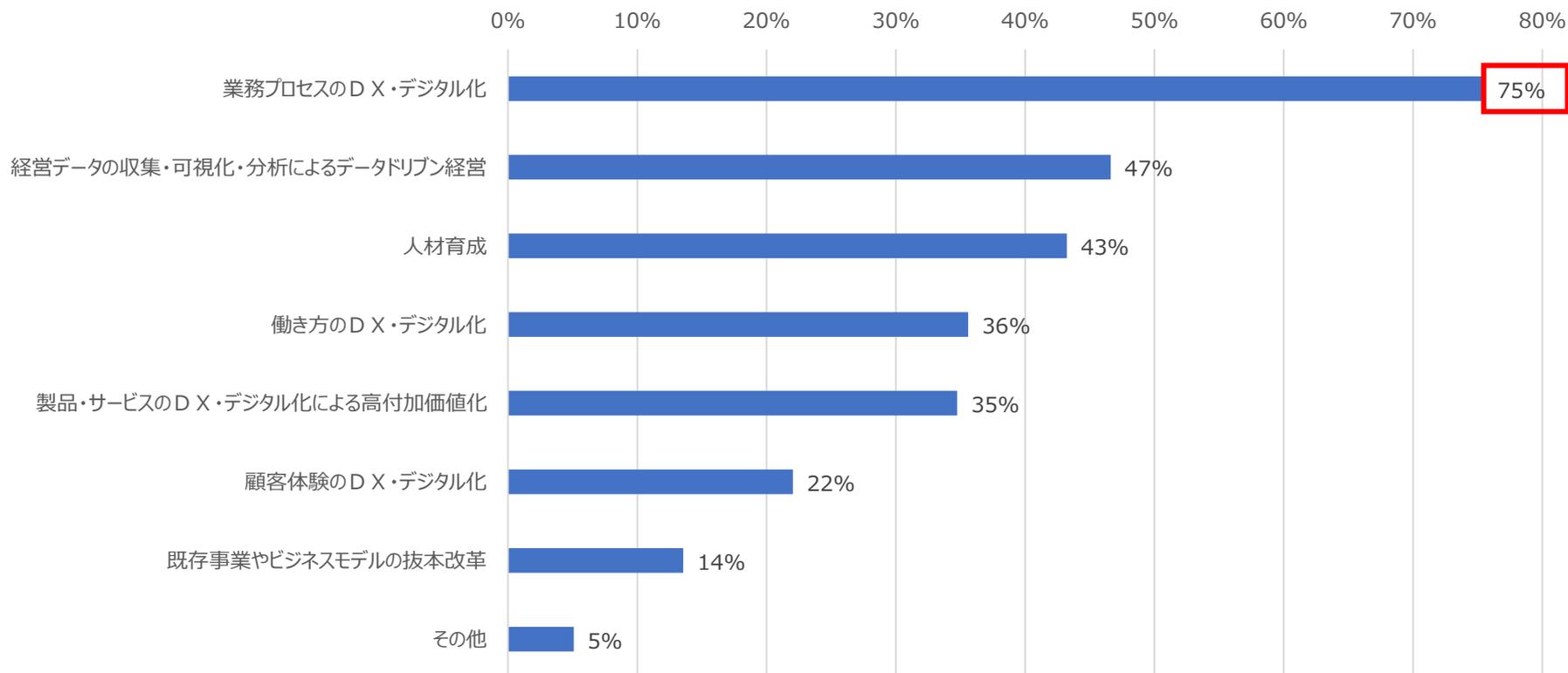


# 検討しているDX・デジタル化（現在・将来）

- 現在検討もしくは今後検討したいDX・デジタル化は、「業務プロセスのDX・デジタル化」の回答割合が75%となり、最も高かった。

Q.現在検討している、もしくは今後検討したいDX・デジタル化の内容について、以下の選択肢から選んでください。（複数回答可）

N = 118

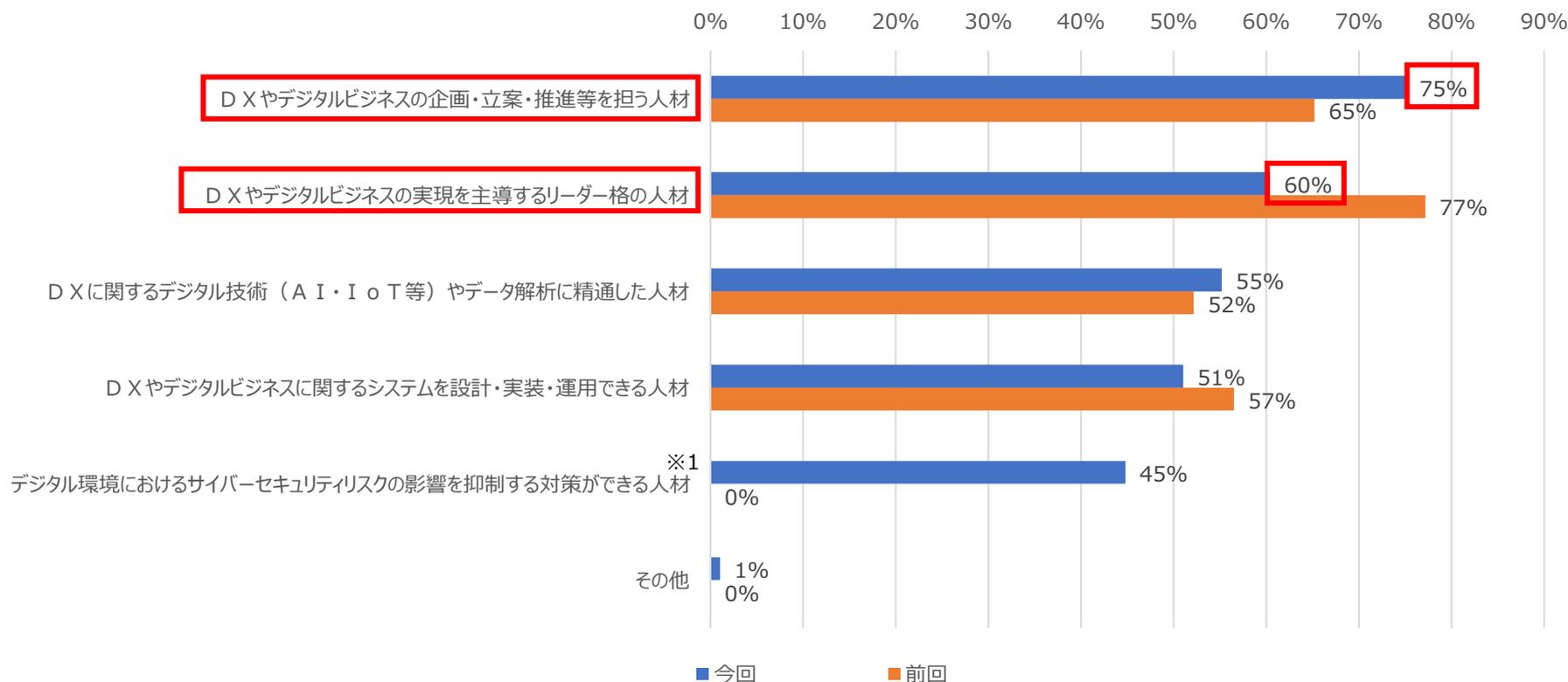


# 育成したいDX・デジタル人材

- 育成したいDX・デジタル人材は、「DXやデジタルビジネスの企画・立案・推進を担う人材」の回答割合が75%と最も高く、次いで、「DXやデジタルビジネスの実現を主導するリーダー格の人材」(60%)となった。

Q. 育成・確保したいDX・デジタル人材のイメージを、以下の選択肢から選んでください。  
(複数回答可)

今回：N = 96、前回：N = 92



※1. 今回調査から選択肢として追加

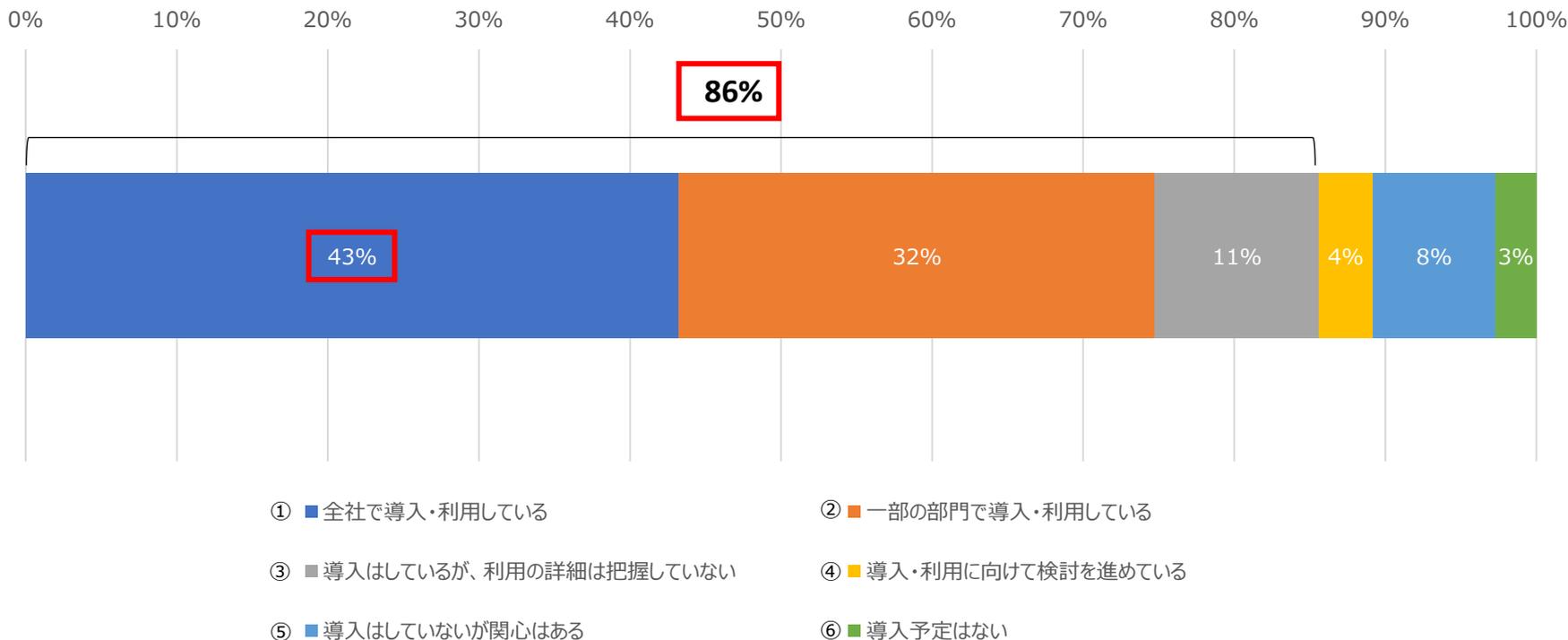
※2. 調査対象：DX・デジタル化に向けて今後、実施・強化したい施策の設問の中で「人材の育成・確保」と回答した企業

# 生成AI導入・利用状況

- 「生成AIを導入・利用している（①・②・③）」と回答した企業の割合が86%となり、このうち「全社で導入・利用している（①）」の回答が43%となった。

Q.生成AIの導入・利用状況について、以下の選択肢から選んでください。

N = 111



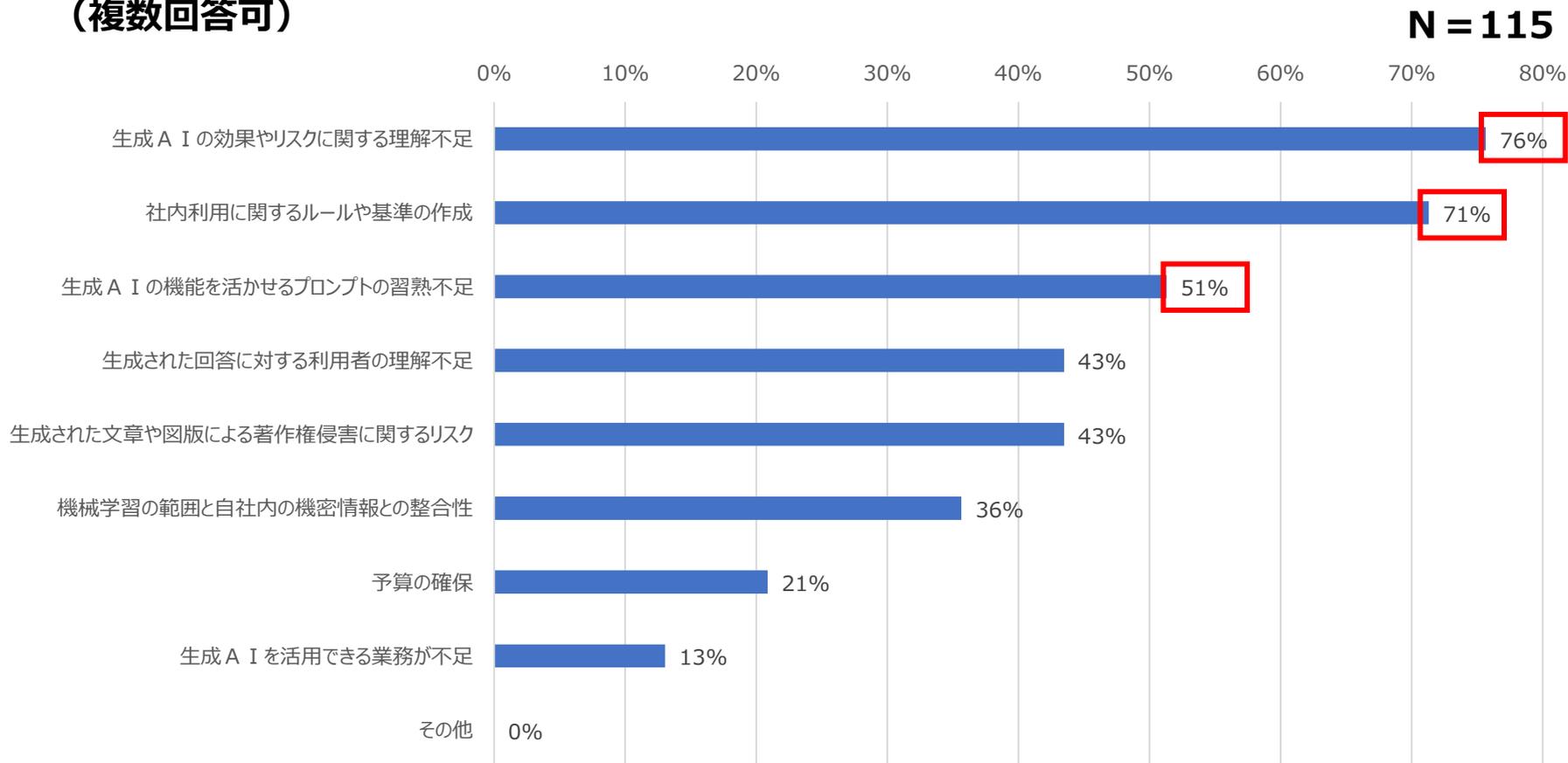
※1. 小数点以下を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合がある

※2. 調査対象：「DX・デジタル化とともに取り組んでいる」、「デジタル化に取り組んでいる」と回答した企業

# 生成AI活用の課題

- 生成AIを活用する上での課題は、「生成AIの効果やリスクに関する理解不足」の回答割合が76%と最も高く、次いで、「社内利用に関するルールや基準の作成」（71%）、「生成AIの機能を活かせるプロンプトの習熟不足」（51%）と続いた。

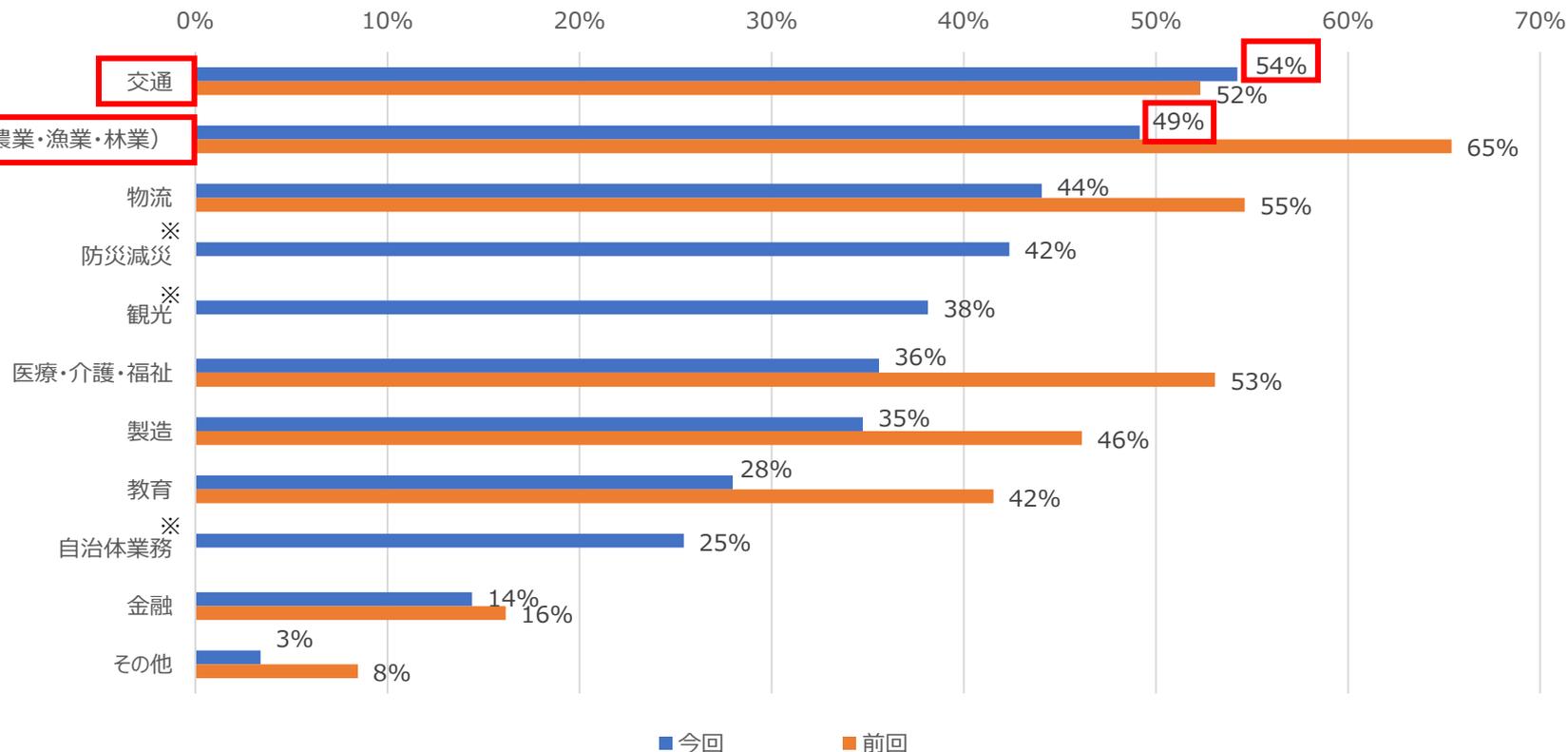
Q.生成AIを業務で活用する上で考えられる課題を、以下の選択肢から選んでください。  
(複数回答可)



# DX・デジタル化の伸展に期待する分野

- 四国の活性化に向け、DX・デジタル化の伸展に期待する分野は、「交通」の回答割合が54%と最も高く、前回調査で最も高かった「一次産業」は49%で2番目となった。

Q.四国の活性化に向け、特にDX・デジタル化の伸展に期待する分野について、以下の選択肢から選んでください（複数回答可）  
今回：N = 118、前回：N = 130



※今回調査から選択肢として追加